

安全で安心な水を届けて90年



「水道事業のあゆみ」を 金子さんと振り返りましょう!!



福島市出身の昭和の偉大な作曲家：古関裕而さんと、その作曲活動を支えた豊橋市出身の妻：金子さんが連続テレビ小説「エール」のモデルです。

明治20年(1887)	横浜市で近代水道が給水開始	
明治39年(1906)	市制施行(全国で62番目)、人口37,635人	
明治45年(1912)	古関裕而さんの妻、金子さんが市内で誕生	
大正14年(1925)	路面電車が開通	
昭和 2年(1927)	上水道工事の着工	
昭和 5年(1930)	小鷹野浄水場通水開始、古関裕而さん・金子さん結婚	給水人口 27,194人
	給水が開始された年と私たちが結婚した年が同じ昭和5年なんて感動的!	
昭和 9年(1934)	第1次拡張工事完成	給水人口 41,731人
昭和32年(1957)	上水道戦災復興事業完成、「豊橋市歌」を古関さん作曲	
昭和33年(1958)	宇連ダム完成	
昭和34年(1959)	第2次拡張事業完成(南栄地区給水拡張)	給水人口 106,510人
昭和39年(1964)	東海道新幹線開通、東京五輪「オリンピックマーチ」を古関さん作曲	
昭和41年(1966)	第3次拡張事業完成(南栄、小池、牟呂給水所完成)	給水人口 175,310人
昭和42年(1967)	牛川浄水場(現 豊橋浄水場)通水開始	
昭和53年(1978)	第4次拡張事業完成、前年に古関夫妻来豊	給水人口 273,078人
	市勢の発展とともに、水道事業も拡張していったのね!	
昭和58年(1983)	第5次拡張事業完成(南部配水場建設)	給水人口 291,999人
平成 2年(1990)	第6次拡張事業完成(基幹配水管網整備)	給水人口 326,154人
平成 9年(1997)	第7次拡張事業完成(配水圧力コントロールシステム導入)	給水人口 355,266人
平成13年(2001)	大島ダム完成	
平成16年(2004)	第8次拡張事業完成(震災対策：配水システムのブロック化)	給水人口 372,540人
平成31年(2019)	水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定取得	
令和 2年(2020)	通水90年、連続テレビ小説「エール」放送	給水人口 375,279人



開通を祝う花電車



古関夫妻



JWWA-GLP141

水道GLP認定

水質検査に対する信頼性の確保を図ります。

※給水人口は年度当初の数を示す。

豊橋水道豆知識

豊橋市の水道管の延長は?

市内の地中に張り巡らされた水道管を1本につなげると、なんと約2,300キロメートル! これは新幹線の青森から鹿児島までとほぼ一緒の距離!



水道水を24時間365日体制で監視!

浄水処理された水や配水池に貯められた水は定期的に水質検査を実施しています。また、市内13か所に水質計測所があり、きめ細かく水質監視をすることで、安全で安心な水道水を届けています。



中央監視室
水質検査

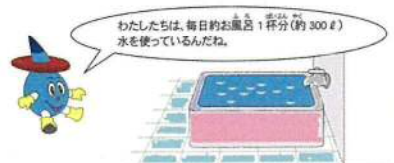
水源はどこから?

下条取水場では、豊川の川底約5.5mの地中から自然にろ過された伏流水を集水管で取水し、小鷹野浄水場に送っています。



市の水道管を流れる水の量は?

1日平均111,000立方メートル! 7コースある25mプールでおよそ211杯分にもなります。水道水は、1分間に約12リットル流れます。1人が1日に使う水道水の量は、約300リットルです。



国登録有形文化財



豊橋市営最初の上水道の歴史を伝える建造物として、次の5つの建造物は、平成30年(2018)11月2日に国登録有形文化財に登録されました。

●大江川水道橋 (昭和3年架橋・幾何学模様ルネッサンス風様式)



大江川水道橋

下条取水場と小鷹野浄水場を結ぶ水道道路として大江川を渡るために設置された水道橋で、下条取水場から南東に400m程のところにあります。河川との交差角約45度の斜橋。建設時の図面によれば、直径500mmの送水管が川底に埋設されていました。

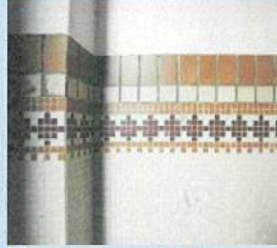
●下条取水場旧ポンプ室 (昭和4年建築・ロマネスク風建築様式)



旧ポンプ室



インディアンの装飾



ポーチのモザイクタイル

水源は、豊川河口から9kmほど上流の豊川本流の伏流水で、下条取水場は水源から堤防を挟んだ標高8m程の場所に位置します。取水された水は、ポンプで浄水場へ送られます。

●小鷹野浄水場緩速ろ過池 (昭和4年建設・面積5,236㎡・5池：縦40.0m×横26.1m)



緩速ろ過池(流速1日4~5mのろ過を行う。)



ろ過池への流入口

竣工当時主流であった緩速ろ過方式。豊川の良質な伏流水を、砂・砂利・レンガの高さ1.6m程の層にゆっくりとした速さで通し、砂層にいる自然の微生物の働きにより、細菌等を取り除きます。補修や砂の入替などを行いつつ、現在も稼働しています。

●小鷹野浄水場 旧ポンプ室 (昭和4年建築・ルネッサンス風建築様式)



旧ポンプ室



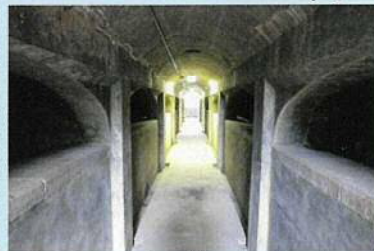
アール・デコの装飾

ろ過・消毒した浄水を配水池へ送り出すポンプがありました。内外にアール・デコの装飾が使われています。戦時中は、外壁が迷彩に塗られていたようです。現在は、薬品注入機室に改修されています。

●多米配水場旧配水池 (昭和4年建設・ゴシック風建築様式)



ゴシック風の通路入口



配水池の管理通路

標高54mに築かれた多米配水池は浄水を北と南にある半地下式の配水池に貯め、自然流下によって各戸や消火栓に配水しました。現在は役目を終えています。(平成19年まで使用)。「通路入口」建物が長辺中央部の両側に付いています。

水道週間(6月1日~6月7日)などに、水道施設の一般公開を実施しています。

詳しくは、浄水課 ☎(0532)61-8761(平日8:30~17:15)にお問い合わせください。